— 計測システムの総合メーカ —

DAIICHI

# 信号用 SPD

## 動作表示・警報接点付

## ＤＡ３－ＴＰ

**外端としても利便性を向上**
**信号用ＳＰＤに端子配列のバリエーションを追加！**

### ■用途

本器は計装用信号回線に侵入した雷サージにより、計装機器の電子回路が破損することを防ぐ信号用 SPD です。

### ■特長

- 新端子配列の採用で、外部接続用の端子としてご利用できます。
- 連結金具にて接地端子の接続が可能です。
- JIS C 5381-21:2004 カテゴリ C1,C2 に準拠しています。
- 最大放電電流(Imax)20kA(8/20μs)の高耐量です。
- 10kA(8/20μs)±15%の誘導雷サージ(接地間)を検出し、本体前面に動作を表示。同時に警報接点を出力します。Imax 以下の検出では、保護機能を持続します。
- 動作表示と警報接点により SPD の保守管理が省力化できます。
- 本体の交換に、工具を必要としないプラグイン構造です。
- 接地端子と取り付け足、DIN レールは絶縁されています。
- 定格電流(最大負荷電流)は 200mA です。
- 壁取り付けと DIN レール取り付けの両方に対応しています。

JIS C 5381-21:2004 カテゴリ C1,C2 準拠

DA3-TP　(23.5×113×78mm)

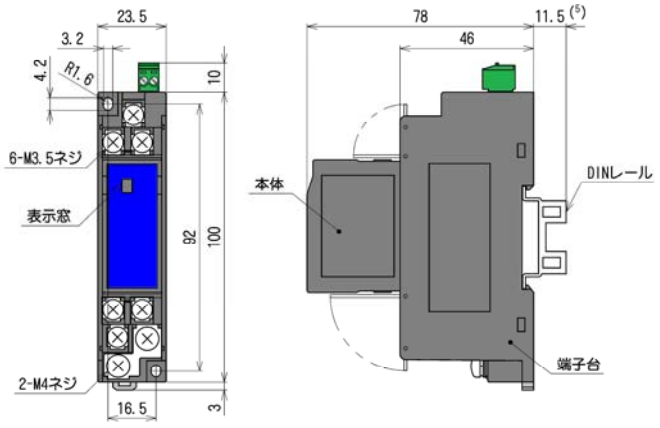
### ■仕様および性能

| 項　目 | 仕　様 | |
|---|---|---|
| 品　名 | 2 線式信号用 SPD | |
| 形　名 | DA3-TP | |
| 信　号 | 直流信号用(1) | |
| 準拠規格 | JIS C 5381-21:2004　カテゴリ C1,C2 | |
| 最大連続使用電圧 Uc | DC30V | |
| 電圧防護レベル　Up (5kA 8/20μs 印加時) | 線　間 | 73V 以下 |
| | 接地間 | 650V 以下 |
| 漏れ電流 | 線　間 | 5μA 以下（DC30V にて） |
| 直列抵抗(1 線) | 10Ω±5% | |
| 放電耐量 | 20kA(8/20μs)×1 回、10kA(8/20μs)×5 回 | |
| 誘導雷サージ検出 | 検出点 | 10kA(8/20μs)±15%（接地間） |
| | 動作表示 | 検出前:黒<br>検出後:白（連続） |
| | 警報接点 (a接点) | 検出前:OFF<br>検出後:ON（連続）（接点容量:AC/DC125V　0.5A　抵抗負荷） |
| 接続端子 | 信号用端子:M3.5 ねじ　接地用端子:M4 ねじ | |
| 適用電線 | 信号/接地端子 | 最大 5.5mm² |
| | 警報端子(プラグ) | 0.14～1.5mm²（1 本）0.08～0.75mm²（同断面積 2 本） |
| 定格電流（最大負荷電流） | 200mA | |
| 耐 電 圧 | 電気回路一括　—　警報接点間:AC2000V　50/60Hz　1 分間<br>警報接点　—　接地端子間:AC2000V　50/60Hz　1 分間<br>電気回路一括　—　接地端子間:非絶縁（耐電圧試験は実施しないでください）(2) | |
| 接　地 | D 種接地(100Ω以下) | |
| 構　造 | 小型プラグイン構造 (3)(4) | |
| 材　質 | 本体:難燃性樹脂(ABS)　端子台:難燃性樹脂(ABS) | |
| 取　付 | 35mm 幅レール(DIN レール)または壁取付 | |
| 使用温湿度範囲 | −10～+55℃, 5～90%RH(結露しないこと) | |
| 保存温度範囲 | −40～+70℃ | |
| 外 観 色 | マンセル N1.5(黒) | |
| 付 属 品 | 警報端子プラグ(フェニックスコンタクト製　MC1.5/2-ST-3.5AU) | |
| 質　量 | 110g | |

注(1)　直流信号用とは DC4～20mA、DC1～5V 等、DC30V 以下の信号用です。
(2)　配電盤の耐電圧試験の際は、SPD 本体部分を端子台から引き抜くか、SPD の接地線を外して実施してください。
(3)活線挿抜可能。本体を引き抜いても信号ラインがオープンになりません。
(4)本体と端子台の挿抜回数は 50 回以下として下さい。

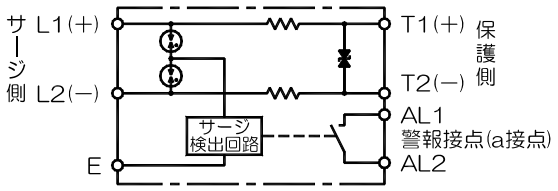
# 信号用 SPD （動作表示・警報接点付）　ＤＡ３－ＴＰ

## ■外形図



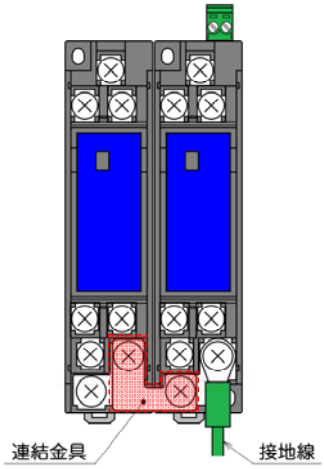

注(5) 高さ 15mm の DIN レール使用時

## ■結線図

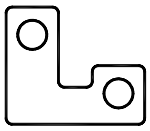



## ■端子配列図

## ■連結金具使用例

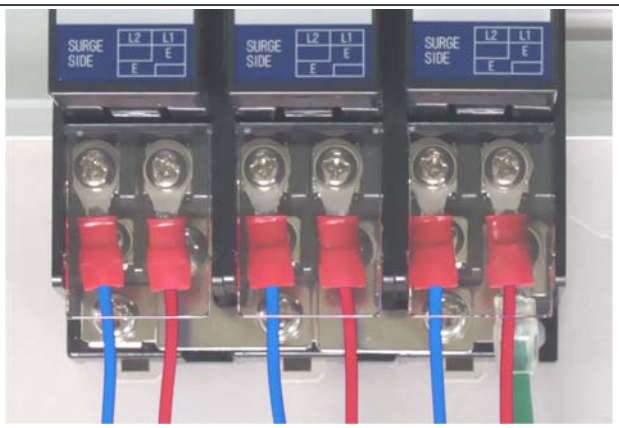



接地端子に連結金具を使用して接続する場合、SPD の取り付けピッチは 24±0.5 としてください。



連結金具（オプション）

## ■外端としての配線例




L1,L2 端子を接地端子より上に配置して、外部からの接続を容易にしました。

## ■ご注文時の指定事項

（１）形名　（２）数量　（３）オプション　連結金具　あり・なし

本 SPD が動作した場合、通常は本体部分のみを交換する事で防護性能を復帰できます。しかし、インパルス耐久性を超えた誘導雷サージが侵入した場合、本体と端子台の接続部分（カードエッジコネクタ部分）に誘導雷サージ電流による放電跡が残ります。その場合は端子台側もダメージを受けている可能性がありますので本体と端子台の両方を交換してください。

## ■ご使用上の注意事項

- 配電盤の耐電圧試験の際は、SPD 本体部分を端子台から引抜くか、SPD の接地線を外して実施してください。
- 本体と端子台の挿抜回数は 50 回以下としてください。

## ⚠ 安全に関するご注意

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | ● 本製品を使用するに当たりましては、専門知識が必要です。取扱説明書を参照の上、正しい取扱をしてください。<br>● 結線は結線図を十分に確認の上、行って下さい。<br>● 活線作業は、禁止して下さい。感電・機械の故障・焼損・火災の原因となります。 |


株式会社 第一エレクトロニクス

本　　社　住 所：〒121-8639 東京都足立区一ツ家1丁目11番13号
東京営業所　電 話：03 (3885) 2411 （代表）
　　FAX ：03 (3858) 3966
京都営業所　住 所：〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原1-19
　　電 話：0774 (55) 1391 （代表）
　　FAX ：0774 (54) 1353

http://www.daiichi-ele.co.jp/


※記載内容は性能改良等により、お断りなく変更することがございますのでご了承下さい。

IP1303-0